



今、農園ではトマト、キュウリ、ナス、カボチャ、ピーマンなどが順調に育っています。

この夏野菜の苗作りは父の担当ですが、無農薬で丈夫な苗を作るのは難しく、まだ父にしかできない仕事です。2月頃から種を蒔き始めますが、まずは苗を並べる場所の下を掘り込んで、そこに落ち葉や刈り草を敷き詰めて水をかけます。その発酵熱を利用して発芽を促し、写真のように苗を育てます。

育苗土は無菌の山土に自家製堆肥を1割程混ぜたものを使っています。畑の土を使うと病原菌や雑草の種が混ざっていて苗作りに支障があるため、山土を使います。

「苗半作」とも言われるように、丈夫で良い苗ができれば、半分出来たも同然だというぐらい苗作りはとても重要です。下の写真の

ように白くて強い根がポットの中でとぐろを巻いていけば上出来です。そのやま農園の野菜作りのスタートはここからです。

平成 28 年 6 月 24 日